

高崎市教育委員会定例会会議録	
開 会 年 月 日	令和7年7月24日（木） 午後2時00分
閉 会 年 月 日	令和7年7月24日（木） 午後2時28分
会 議 の 場 所	教育委員会室
教育長 小林 良江 教育長職務代理者 田野内 明美 委員 塩野 有希 委員 新井 英夫 委員 横田 裕正	
事務局（説明員）	
教育次長 村上 正和 教育部長 青柳 正典 公民館担当部長 川嶋 昭人 学校教育担当部長 依田 哲夫 教育総務課長 宮澤 信宏 社会教育課長 新井 静香 文化財保護課長 角田 真也 中央公民館長 湯浅 貴弘 中央図書館次長 富岡 也寸彦 教職員課長 春山 敦夫 学校教育課長 松村 久美 健康教育課長 亀山 理映 教育センター所長 小池 芳典 高崎経済大学附属高等学校事務長 山口 順子 書記 教育総務課 鈴木 智	

7月24日	会 議 に 附 し た 事 件
議案第15号	令和8年度使用教科用図書の採択について
議案第16号	高崎市公民館運営審議会委員の委嘱について

高崎市教育委員会 7 月定例会会議録

教育長（小林良江）

それでは、これより高崎市教育委員会 7 月定例会を開会いたします。

議事日程に従いまして、議事を進めさせていただきます。

日程第 1 会期の決定といたしまして、会期は、本日 1 日といたします。

日程第 2 会議録署名人の指定といたしまして、会議録署名人に、塩野委員と新井委員を指名させていただきます。よろしくお願いいたします。

日程第 3 会議録の承認といたしまして、前回の会議録を事前に送付させていただきましたが、内容について何かございますか。

（「なし」との声あり。）

教育長（小林良江）

「なし」とのお声をいただきましたので、会議録はご異議なしと認め、原案のとおり承認させていただきます。

教育長（小林良江）

それでは、本日の議事に入ります。

議案第 15 号「令和 8 年度使用教科用図書の採択について」を議題といたします。提案理由の説明をお願いいたします。

（松村 学校教育課長 説明）

教育長（小林良江）

説明が終わりましたが、ご質疑等ありませんか。

教育長職務代理人（田野内明美）

今回の教科書の採択で内容が大きく変更になるところがあれば、教えていただきたいと思います。

学校教育課長（松村久美）

本市における小学校の教科書は令和 6 年度から、中学校は令和 7 年度から 4 年間使用するため、内容に変更はありませんが、最近の教科書の傾向としては、授業でタブレットを使用するため、QRコードが多用されております。例えば、体育の授業では、タブレットでQRコードを読み込んで、正しいフォームを動画で確認しながら学習を進めるなど、個別最適な学びにつながっています。その他、協働的な学びを促す内容や、様々な資料が充実しているのも最近の教科書の特徴です。

教育長（小林良江）

他に、ありませんか。

（「なし」との声あり。）

教育長（小林良江）

それでは、お諮りいたします。

本案は原案のとおり決することでご異議ありませんか。

(「異議なし」との声あり。)

教育長（小林良江）

ご異議なしと認め、議案第15号は原案のとおり決しました。

続きまして、議案第16号「高崎市公民館運営審議会委員の委嘱について」を議題といたします。提案理由の説明をお願いいたします。

(湯浅 中央公民館長 説明)

教育長（小林良江）

説明が終わりましたが、ご質疑等ありませんか。

(「なし」との声あり。)

教育長（小林良江）

それでは、お諮りいたします。

本案は原案のとおり決することでご異議ありませんか。

(「異議なし」との声あり。)

教育長（小林良江）

ご異議なしと認め、議案第16号は原案のとおり決しました。

教育長（小林良江）

以上で、予定していた議事の審査は終了いたしました。事務局から他に報告等はありませんか。

(「特になし」との声あり。)

教育長（小林良江）

事務局からは無いようですが、委員の皆様から、ご意見・ご質問等ありませんか。

教育長職務代理者（田野内明美）

自転車の整備についてですが、今年の4月に市内の中学校で、自転車屋が通学用自転車約40台の診断を行いました。その結果、即修理が必要な状態が34%、修理が必要な状態が27%、注意が必要な状態が30%で、ほとんどが整備不足でした。良好な状態も数%あったのですが、これは買ったばかりの自転車です。即修理が必要な自転車は、タイヤが破裂寸前な状態や、前輪のスポークが折れている等、危険な状態だったということです。

日常的に自分でできる点検や手入れについて自転車屋へ聞いたところ、タイヤの空気不足はパンクの原因になるため、空気が減ってから入れる人が多いですが、継ぎ足しで入れて欲しいとのことでした。適度な空気の量を確認する方法としては、タイヤを指で押してみて、男性は少しつぶれる程度、女性につぶせないくらいが適度な空気の量ということでした。タイヤのゴムは暑さで柔らかく、伸びやすくなるため、傷んだタイヤに空気がたくさん入っていると、ひび割れが原因で破裂してしまうことがあり、ここ数年、暑さが非常に厳しいので、パンクが多くなっているとのことでした。

その他、知っておいたほうがよいこととして、部品がグラグラする、カタカタ音がするのは自転車にとっては良くない状態であることや、ブレーキは前と後ろをバランス良く使うこと、チェーンは定期的に油をさすことが必要とのことです。ただ、油が多いと砂粒が付いてチェーンがすり切れてしまうため、油をさしたら、雑巾などでチェーンを拭く必要があるとのことです。

自転車の点検は2～3ヶ月に1回行うのが望ましいとのことで、学生は、毎日の通学や週末に部活で試合に行く等、かなりの頻度で自転車に乗っているため、自転車の点検は非常に大切だと感じました。

また、県内の中高生の自転車事故件数が、10年連続全国ワーストとなっています。自転車の整備不足がすべて事故に直結するわけではありませんが、地域の自転車屋と連携して、子ども達に点検の大切さや家でできる点検方法を伝え、タイヤに空気を入れる、チェーンに油をさすといった体験をする機会をつくることで、子ども達自身が、自分の自転車の点検に興味を持って欲しいと思います。

教育長（小林良江）

ありがとうございました。他にいかがでしょうか。

委員（塩野有希）

昨今、ニュースをにぎわせている、教員による児童への性的暴力やわいせつ事件について、面識の無い教員同士がSNSでつながって、わいせつ動画を共有する等、SNSの使い方やルールを教える側の人達が、そのような使い方をしてしまっていることに、たいへん憤りを感じています。

事件が起きてから、教職員に対して服務規律の指導や研修を行うことは必要だと思いますが、普段から、性的な被害を起こさせないための研修や指導を行っているのか、具体的に、どのような立場、見識を持った方が、全教職員を対象に行っているのか教えていただければと思います。

また、実際に起きてしまった場合、早期発見し対策を打っていく必要がありますが、被害を受けた子ども達は、いじめや悩みごと以上に、言いづらいことだと思います。こうした事情を踏まえ、早期発見するための工夫や取り組みがあれば、教えていただければと思います。

教職員課長（春山敦夫）

不祥事の未然防止につきましては、毎月、市教育委員会が全国の不祥事関連のニュースをまとめて各学校へ提供し、学校はそれらを研修や注意喚起で使用しています。また、今年は6月を服務規律強化月間として、性暴力や不適切な指導について力を入れており、市教育委員会はチェックシートやリーフレット等を作成し、各学校はそれらを使用して研修を行っています。長期休業前には、県教育委員会から服務規律の確保について通知が来るため、それを学校へ周知し、服務規律の確保をお願いしています。

被害を受けた子どもの早期発見については、子どもの生活アンケートを毎月行っており、学校生活や家庭生活で気になっていること、困っていることなどを調査しています。また、教室等で子どもと1対1にならないよう、生徒指導をする際は、必ず複数の教員で対応することを、各学校で徹底しています。

委員（塩野有希）

各学校で行っている研修は、校長先生が教職員に話をするかたちなのでしょうか。

教職員課長（春山敦夫）

校長など管理職からの指導だけでなく、若手の教員が中心となり、気になった事例等を持ち寄ってグループワークをするなど、各学校で工夫して取り組んでいます。

委員（塩野有希）

性的暴力やわいせつ事件は犯罪であるため、警察、弁護士、大学の先生などの専門家が話をする研修を定期的に実施できると良いと思いました。

教育長（小林良江）

ありがとうございました。他にいかがでしょうか。

委員（新井英夫）

百日咳が、いまだ増加傾向にあります。4月定例会で、百日咳の流行が始まり、乳児が重症化しやすいので注意が必要とお話させていただきましたが、再度、注意喚起したいと思います。

6月30日のNHKで、全国でこれまでに4人の乳児が百日咳で死亡したと放送されましたが、その内訳は、生後1ヶ月の乳児が2人、2ヶ月が1人、4ヶ月が1人です。このうち、ワクチン未接種が2人、他の2人は1回または2回の接種をしていたようです。過去の状況を見ると、2011年～2021年の10年間で、百日咳で12人が死亡していますが、今年は既に4人死亡しているので、かなり多いことになります。

群馬県では、4月15日の感染症情報で、百日咳が増加傾向にあるため、ワクチンをしっかり行って予防するようお知らせが出ました。その後、5月27日に感染症情報が更新され、6ヶ月未満の乳児が重症化しやすく、肺炎や脳症等の合併症もあり、稀に死亡することもあるため、乳児を守るために、周囲の方々が感染予防をして、家庭内に百日咳を持ち込まないよう注意を促す内容に変わりました。

高崎市でも、7月17日にホームページが更新され、百日咳が流行しており、乳児が重症化しやすいことを伝えています。特に、4ヶ月未満の乳児を百日咳から守るためには、家庭内に百日咳を持ち込まないよう注意することが重要ですが、もし防げなかった場合、早期に発見して医療機関で対応すべきです。そのためには、医療側が流行状況を把握することも必要ですが、学校や保護者が、乳児は重症化しやすいことを認識していただくことが最も重要だと思います。そこで、市教育委員会は、学校や保護者に対して、百日咳は乳児が重症化しやすいことを伝えているか伺います。

健康教育課長（亀山理映）

今年の4月から、毎日のように保健所から百日咳の感染者数の報告があり、多いと実感しています。百日咳の流行後、学校保健会の理事会等でも、医師会の先生から理事の方に状況を伝えていただいています。先日、養護教諭会の全体会があり、保健所の方から養護教諭全員に、この件についてお話していただきました。また、校園長会では、私から話をさせていただきました。

学校にやっていただきたいことは、基本的な感染症対策と同時に、学校で咳等続いて

いる子どもがいたら、早めの受診を勧めることと、学校で流行ってきていることを、家庭に知らせることです。また、受診の際、学校で流行っていることを医師へ伝えることで、早い段階で適切な検査に繋ぎやすくなると聞いています。

委員（新井英夫）

例えば、学校だより等で、乳児がいる家庭で咳をしている人がいたら、普段以上に気を付けることや、乳児が少しでも咳をしていたら、軽い風邪と思わないで、早期に受診すべきことを、保護者に伝えることが必要だと思います。

教育長（小林良江）

ありがとうございます。他に、いかがでしょうか。

（「なし」との声あり。）

教育長（小林良江）

よろしいでしょうか。ないようですので、以上をもちまして、教育委員会7月定例会を閉会いたします。

大変ご苦勞様でした。